

スポーツYAMATO

開幕節オーダーはこれだ
担当記者ズバリ予想



打順予想
1番#7上原
2番#5古賀
3番#21新海
4番#10車
5番#6堀
6番#2立川
7番#8宮崎
8番#15小柳
9番#17村井

先発予想
第1戦#27大串
第2戦#24斎藤

クロウザー
#1 大依
#11 古川
#181 木村

代打の切り札
#16 小川

内野手
#12 稲垣
#251 矢崎

外野手
#2319 森本
#181 長尾

戦力分析 (投手編)

右の大串、左の斎藤は先発としての起用が濃厚。大串は昨シーズンよりスケールアップした印象があり、打者をねじ伏せるまでに成長。不用意な一発を食らわなければある程度勝算が立てられる。一方斎藤は立ち上がりに不安が残るものの初回、二回を抑えきることが出来れば先発の役割を全う出来るだろう。中継ぎ陣は3年目の大依と2年目の木村が軸になっていく。大依はオープン戦では好不調の波が大きかったが、好調の時は多彩な変化球で打者を翻弄出来る。大好きなピッチャーを食べて結果を残したい。木村はここに至り球速を更に上げてきており、力で抑える事が可能。課題となっているチェンジアップが決まれば無双状態になるだろう。注目投手はルーキー古川。オープン戦は自責点ゼロのまま終えた。ライズボールが古川の武器の一つだが、表情が変わらず新人離れ

戦力分析 (攻撃編)

トップバッターには東京富士大学から加入した上原が入る。巧みなバットコントロールに加え、俊足が武器。上原の出塁率が上がれば攻撃パターンも増えてくるだろう。2番には上原の先輩古賀が入った。足の速さは上原に引けを取らない。昨季はバッティングに課題があったが、今年は振り切れる様になり、ヒットを連発。東京富士大コンビが得点源となれば先制点は確実だろう。クリーンアップは新海、車、堀が担う。昨季、1本差で本塁打タイトルを逃した新海は、今季は更に凄みを増している。好不調の波を抑えられればタイトルは手中に収めるだろう。4番に入る車は勝負強さが光る。得点圏にランナーが居ればキャプテンのバットが火を噴くだろう。5番の堀は長打力と昨季盗塁王を獲得した足がある。追い込まれ

ても粘れるバッティング技術があり、四球を選んですかさず盗塁を狙える事が出来るのが魅力だ。長打力も魅力だが、強引にいかずに右方向への意識が出てくれば本塁打王を争う可能性も十分あるだろう。6番には5年目の立川が入るだろう。今季は初戦のオープン戦でいきなりホームランを打つなどこれまでの努力が実を結びつつある。狙い球の打ち損じが無ければ波に乗る可能性もある。7番には城西大学から加入した宮崎が入るだろう。大学では控えの捕手だったが、肩とキャッチング技術はトップクラス。今年は主に一塁手として起用されると予想する。ルーキーとは思えない落ち着きがあり、大舞台で力を発揮する雰囲気がある。8番にはDPに小柳が入るだろう。当たった時の飛距離はチーム1。体格を生かしたスイングは他チームの脅威となる。オープン戦でも結果が出てきており、今季の飛躍が期待できる。ラストバッターは今季から三塁手にコンバートされた村井が入るだろう。バットに当てる技術はピカイチで足もある事からここ一番の場面でのエンドランには重要なピースだ。【芳賀 仁】